

# チャペル週報

No. 9

2013. 6. 3 ~ 6. 7

自分自身を愛するように  
隣人を愛しなさい。

(レピ記19:18)



西宮聖和キャンパス グッドホープメモリアルチャペル

関西学院宗教センター

---

☆チャペル・スケジュール☆

---

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

---

6月3日(月) 神 中村和光(神学研究科M2)  
経 音楽チャペル 聖歌隊  
人 人間について考える③ 林直也(人間福祉学部准教授)  
聖和 聖書物語「神さま、道をつくる」

---

6月4日(火) 院 中島純(神学研究科M2)  
神 柳本伸良(神学研究科M1)  
文 Andreas Rusterholz(宗教主事)  
社 大学で学ぶとは?⑤ 打樋啓史(宗教主事)  
法 音楽チャペル バロック・アンサンブル  
経 舟木讓(宗教主事)  
商 山本俊正(宗教主事)  
国 献血実行委員会  
聖和 永田雄次郎(文学部教授)  
総 関西学院室内合奏団

---

6月5日(水) 宣教師による学部合同チャペル(西宮上ヶ原キャンパス)  
“Ask, and it shall be given to you” Ruth M. Grubel, David Wider 法学部チャペル  
“Behold the Man” Timothy Boyle, Eun Ja Lee, Christian Hermansen ランバス記念礼拝堂  
社 大学で学ぶとは?⑥ 高原基彰(社会学部准教授)  
聖和 田淵結(教育学部宗教主事)  
理 前川裕(宗教主事)  
総 村瀬義史(宗教主事)

---

6月6日(木) 神 小片聡(神学研究科M2)  
文 山内一郎(名誉教授)  
社 大学で学ぶとは?⑦ 今井信雄(社会学部准教授)  
法 法学部音楽賛美シリーズ バロック・アンサンブル  
経 献血実行委員会  
商 English Chapel Christian Morimoto Hermansen(宣教師)  
国 English Chapel 三宅康之(国際学部教授)  
聖和 「『風・空気・息』—パイプオルガンの響きを通して—」高田正久(聖和短期大学教授)  
総 ゴスペルクワイアP.O.V.

---

6月7日(金) 神 平林孝裕(国際学部宗教主事)  
文 English Chapel Andreas Rusterholz(宗教主事)  
経 音楽チャペル ゴスペルクワイアP.O.V.  
人 人間について考える④ 樋口進(宗教センター宗教主事)  
聖和 「おおきにな、ええよ ええよ、おたがいさん」波田埜英治(聖和短期大学准教授)  
理 献血実行委員会

---

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)  
6月7日(金) 寮生・下宿生のために 森静子(清風寮・寮母)

---

# 人はパンのみにて生きるにあらず

平 山 健 二 郎

私が初めて新約聖書を読んだのは中学校に入ってからのものであった。キリストの言葉は新鮮で、刺戟に満ち、また神に対する畏怖の念を惹き起させるものであった。私が感銘を受けたキリストの言葉は多くあるが、その後もしばしば心の中に登場する言葉に「人はパンのみにて生きるにあらず」（マタイによる福音書、4:4）がある。これは人間が生きていく上で大切なものはパンに代表される物質だけではなくて、物質を超えた霊性や神の教えが大切であることを説いているものと理解した。まして、「金持ちが神の国に入るよりも、らくだが針の穴を通る方がまだ易しい」（マタイによる福音書、19:24）と言われると、物質的豊かさの追求は忌避されるべき行為のように思われた。

皮肉なものでその後、私は経済学者の端くれとなった。経済学においては物質的豊かさこそが人類の幸せの根源だと考える訳で、神の言葉には一瞥もされない。それどころかマルクスに到っては「宗教は人民のアヘンである」として宗教は厳しく断罪するのであった。

ところでキリスト教を精神的基盤に置いた西欧世界は 15、16 世紀の大航海時代に南北アメリカ大陸を発見 (!) し、喜望峰周りでインド洋に進出し、東アジアにも到って世界を制覇するまでになった。当初のスペイン・ポルトガルに代わってオランダ・イギリス、やや遅れてフランス・ドイツなども工業国として発展し、18～19 世紀前半は西欧諸国による植民地支配が世界を席卷した。

その後、第二次大戦を経て西欧の植民地に甘んじていた諸国も多くは独立し、国民国家の成立、自由主義・民主主義の政治が世界的規範となったように思われる。つまり 20、21 世紀は西欧的規範が世界を席卷した時代と言えよう。そのような西欧的な考え方が世界的に普及したのは、西欧のもたらした豊かさ、物質の力によるものであるとも言えよう。そうすると「下部構造が上部構造を決定する」としたマルクスが正しかったようにも見える。しかし、そのマルクスが唱えた社会主義の国々もすでに消滅してしまったことを考えると、物質にすべての根拠を置く唯物論も破綻したとも言える。

経済学者の私はこのような想いにふけりながら、しかし、「人はパンのみにて生きるにあらず」という言葉を今も反芻し、ときに聖書に神の言葉を求めているのである。

(経済学部教授)

## ●ランバスチャペル・ヌーンコンサート

西宮上ヶ原キャンパスの正門に入って右手に見えるチャペル「ランバス記念礼拝堂」では、礼拝はもちろん、コンサートや式典、講演会、卒業生の結婚式などが行われています。5月に入ると、関学を代表する音楽団体による恒例のヌーンコンサートが開かれます。お昼休みのひととき、どうぞ耳を傾けてみてください。これからのスケジュールは次のとおりです。

- 6月3日(月) 関西学院大学応援団総部吹奏楽部
  - 6月4日(火) 関西学院交響楽団管楽アンサンブル
  - 6月6日(木) 関西学院聖歌隊
  - 6月10日(月) 関西学院交響楽団弦楽アンサンブル
  - 6月13日(木) 関西学院ゴスペルクワイアPower Of Voice
- いずれも 12:50～13:20  
ところ：ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原キャンパス)  
主 催：宗教センター・宗教音楽委員会

## ●夏の献血週間のお知らせ

学生会宗教総部では、夏の献血週間を実施いたします。提供していただく血液は、兵庫県赤十字血液センターでの検査を経て医療現場に届けられます。皆様のご協力をお願いします。

- 期 間：6月17日(月)～21日(金)
- 受付場所：吉岡記念館ラウンジ
- 主 催：宗教総部献血実行委員会

## ●関西学院会館の日曜礼拝

授業期間中の第二・第四日曜日に、教職員と学生有志による礼拝が行われます。一部英語を用いるバイリンガル形式です。どなたでも参加できますのでどうぞお越しください。

- 6月9日(日)、23日(日) 10:00～11:00
- 関西学院会館ベーツチャペル

## ●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー 14 階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週金曜日にチャペルアワーを開催しています。(18:00～18:20 1405 教室)

- 6月7日(金) 田淵 結(教育学部宗教主事、宗教総主事)

## ●CD・DVDライブラリー

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書必要)であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

## ●盲導犬育成のためご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室はじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。

## コラム：関西学院紹介(高等部)

関西学院高等部の玄関をくぐると、目の前に大きな書が掲げられています。「凡ての人の僕たれ」(マタイ20章27節)。各ホームルーム教室の黒板の右側にも額が飾られています。「[平和があるように]と挨拶しなさい」(マタイ10章12節)。学年・全校礼拝、終礼でのお祈り、毎週火曜の早朝祈祷会(出席者が激増しています)、聖書科の授業。クラブの練習や試合前後のお祈り。聖書の言葉と祈りと共に毎日生活をしています。

2015年度からの共学化を控え、今年度の1年生から全員が制服を着て登校しています。また、高等部の教育内容に合わせた生徒手帳を作成、配布し、活用する生徒も多く見られるようになりました。昨年度に完成した特別教室棟もフル稼働しており、2年生の家庭科では3階の和室で茶道の授業が展開されています。加えて、新しい体育館の建設も始まろうとしています。